

## 未来の交通を共に築く:世田谷区におけるデマンド型交通推進への参画

【サレジアン国際学園世田谷中学高等学校 京百合子】

本校は、世田谷区大蔵に位置する中高一貫の私立学校です。数年前から、社会の授業の一環として交通安全の専門家や自動車メーカーと連携し、交通教育に取り組んでまいりました。これを契機に、世田谷区からデマンド型交通の授業実践の提案を受け、環境交通教育へと取り組みを広げることになりました。

狭い道路が多い世田谷区では、デマンド型交通の導入が検討され、現在、砧・大蔵地区で区内初の乗合ワゴンの実証実験が3か年計画で進行中です。高校1年生の地理総合では、世田谷区交通政策課と連携し、生徒たちが乗合ワゴンの認知度を高める方策を考える授業を実施しました。授業には世田谷区役所の職員を招いてプレゼンテーションを行い、優れたアイデアは実際に採用される成果も得られました。この体験を通じて、生徒たちは地域社会への参画意識を深め、学びのモチベーションを高めることができました。今後は、乗合ワゴン事業のメリットだけでなく、推進における課題やデメリットも取り上げ、生徒たちが多角的に議論し、自らの意見を構築するための教材作成も目指しています。

さらに、夏休みには「未来の交通を創る！デマンド型交通推進プロジェクト」という探究講座を開催しました。参加した生徒は実際に乗合ワゴンに乘車し、地域のまちづくりセンターで世田谷区の職員からレクチャーを受けたり、駅前で街頭アンケートを実施したりしました。フィールドワークを通じて、地域住民のニーズを直接把握し、乗合ワゴン事業の推進方法について考える貴重な機会となりました。現在は、その体験を基に世田谷区が3月に発行予定の「コミュニティ交通ニュース」の作成に協力しています。

これらの活動は、生徒が地域の問題解決に参加し、実践的な学びを深める場となっています。未来を担う生徒たちが、自らの手で持続可能な社会を創造する実感を得られるモビリティ・マネジメント教育に大きな可能性を感じています。